

事務事業評価シート(平成22年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
06002	河川愛護事業	建設水道課	都市計画	漆戸 芳樹	上島 满
		一次評価年月日	平成 23 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	2165
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分	事業コード	事業名(歳出予算見積書)	
		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0840	都市計画総務事務	
	第四次総合計画後期基本計画 の施策体系における位置づけ	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		#N/A	
		章	(コード選択)	1章	美しく豊かな自然環境
		節	(コード選択)	3節	水環境の保全と活用を図る
		項(基本施策)	(コード選択)	132	水に親しむ環境づくり
		主な取り組み	(コード選択)	1323	河川愛護事業の展開
	関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他
	事務期間	(開始)	年度 ~ (終了予定)	年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明 <input type="checkbox"/> 終期設定なし

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。
河川(小野川、飯沼川、駒沢川、横川川、小横川川、沢底川、鴻の田川)
②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。
河川をきれいにする。
③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。
1 河川の草刈、ごみ拾い等の清掃
2
3
4

指標化

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)
① 指標名 河川愛護団体数	団体	4	4	4	1.00	4	
	説明 河川愛護団体数	目標値設定の根拠	対象河川1に対し1団体以上				
② 指標名					#DIV/0!	0	
	説明	目標値設定の根拠					

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。 [Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)
① 指標名 河川の清掃等の実施回数	回	37	34	34	1.00	34	
	説明 地元住民による河川清掃作業の奨励	目標値設定の根拠	年度実績から推計				
② 指標名 河川愛護活動人数	人	1,560	1,606	1,606	1.00	1,606	
	説明 河川愛護活動に携わった延べ人数	目標値設定の根拠	後期基本計画設定数値				

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

		※事業費の算定方法		<input type="checkbox"/> 決算書・予算書等に記載の数字		<input type="checkbox"/> 按分計算による算定													
○総事業費(コスト概算) =①+②																			
対前年比																			
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)																			
B) 一般財源(税金)				187 185 184 175															
①事業費																			
対前年比																			
②人件費の概算				187 185 184 175															
対前年比				98.5 99.5 95.1															
課 長		課長補佐		係 長		一般職員													
H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H20	H21	H22	H23	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費			
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.02	0.02	187	185	184	175	
町職員(正規職員)		人數及び人件費の算出は別シートで計算となっています。 (人件費計算式)シート		0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0													
臨時職員																			

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある C 減少傾向にある B 変化していない D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	B	A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかつた D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	C	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) □を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

今後の展開方針(イを選択した場合のみ□を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

各実施団体の計画等の自主性に任せた。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

23年度予算見積書への反映 あり なし

継続的な支援をしつつ、河川愛護団体の自主性が重要される事業のため尊重する。

〔反映内容〕

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

上位の施策の推進に貢献していますか。□をチェック

県から若干の補助金をいただいて作業を実施している。県で出来ない河川清掃等を実施し美化の面からかなりの効果はでている。

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

どうして県の事業仕分けの対象となるか理解できない。アダプトシステムで対応となる。

今後の方向性 □を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止



b 上記 a~e を選択